

The background features a large, dark red vertical shape on the left side. To its right, there are several horizontal bands of red and white. A teal-colored triangle points downwards from the right edge, partially overlapping the text. The text 'PHILHARMONY' is written in a bold, black, sans-serif font, with the teal triangle overlapping the letters 'HAR' and 'MONY'.

PHIL HAR MONY

November 2021
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

『フィルハーモニー』2021年11月号 掲載内容変更のお知らせ

本誌『フィルハーモニー』11月号の編集終了後、以下の通り掲載内容に変更が生じたので、変更後の内容をお知らせいたします。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

3～4ページ

池袋Aプログラム 指揮者変更

11月定期公演 池袋Aプログラム(東京芸術劇場|11/13(土)、14(日))を指揮する予定だったファビオ・ルイーゼ氏は、入国条件を満たす待機期間が確保できないため、出演できなくなりました。このため指揮者を沼尻竜典氏に変更させていただきます。なお、曲目、ソリストの変更はございません。

指揮: 沼尻竜典



東京都生まれ。桐朋学園大学を経て、ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後ロンドン交響楽団、モントリオール交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、シドニー交響楽団など、世界各国のオーケストラに客演を重ねる一方、国内では主要オーケストラのポストを歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラや劇場専属オーケストラの公演を多数指揮したほか、ケルン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ベルリン・コミッシェオーパーなどに客演した。びわ湖ホールでは、2017年から4年間かけて《ニベルングの指環》を上演。2020年3月のコロナ禍で開催された《神々の黄昏》の無観客公演はライブストリーミング配信され、大きな注目を浴びた。

現在びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任する。N響とは1991年1月の「若い芽のコンサート」で初共演。その後も共演を重ね、2021年9月には定期公演で初めて指揮を務めた。2017年春、紫綬褒章を受章。

12月定期公演の出演者・曲目の一部変更

海外からの入国制限の影響により、以下の通り出演者・曲目の一部を変更して開催いたします。（*が変更事項）

〈第1945回 定期公演 池袋Aプログラム〉

12/4(土)6:00pm 12/5(日)2:00pm 東京芸術劇場

指揮:ガエタノ・デスピノーサ*

ピアノ:小林海都*

ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲、バルトーク/ピアノ協奏曲 第3番*、
シェンベルク/浄められた夜

〈第1947回 定期公演 Bプログラム〉

12/15(水)7:00pm 12/16(木)7:00pm サントリーホール

指揮:山田和樹*

ソプラノ:佐々木典子*

マーラー/花の章*、R.シユトラウス/4つの最後の歌*、ベートーヴェン/交響曲 第3番
変ホ長調「英雄」*

※池袋Cプログラム(東京芸術劇場|12/10(金)、11(土))は当初予定の出演者・曲目で開催予定です。

WINTERシーズン(12月・1月・2月)定期公演の1回券/WEBセレクト3+の発売について

〈12月、1月公演の1回券発売開始日〉

定期会員先行:11/11(木)11:00am~/一般発売:11/16(火)11:00am~

〈2月公演の1回券の発売について〉

当初の予定通りの出演者・曲目での開催を目指して準備を進めておりますが、外国人出演者の入国制限の情勢を見極めるため、発売開始を延期いたします。新たな発売日は2022年1月中旬に改めて発表予定です。

〈WEBセレクト3+について〉

シーズン(3か月)ごとにお好きな公演の1回券を組み合わせでご購入いただくと割引となる「WEBセレクト3+」について、2月の1回券発売が延期されたことに伴い、WINTERシーズンは12月・1月の2か月を対象として実施いたします。12月、1月の6プログラム12公演のうち3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。

「第9」演奏会の日程・出演者変更／発売日について

指揮のファビオ・ルイーヅ氏は、現時点で入国条件を満たす待機期間が確保できないため、以下のように一部の公演日程および指揮者を変更させていただきます。なお、チケット発売日は以下の通り決定しました。（*が変更事項）

【公演日程】

〈バートーヴェン「第9」演奏会〉

12/22(水) 7:00pm オーチャードホール

12/25(土) 4:00pm* 東京芸術劇場 *当初の開演時間から変更

12/26(日) 2:00pm 東京芸術劇場

*12/23(木) 7:00pmオーチャードホールで予定していた公演は中止とさせていただきます。

〈かんぼ生命 presents N響第九 Special Concert〉

12/27(月) 7:00pm サントリーホール

【出演者】

指揮：尾高忠明(22日) *当初の指揮者から変更

ファビオ・ルイーヅ(25日、26日、27日)

ソプラノ：ヘンリエッテ・ボンデ・ハンセン

メゾ・ソプラノ：加納 悦子

テノール：ステュアート・スケルトン

バス：ミカ・カレス

合唱：東京オペラシンガーズ

オルガン：勝山雅世(27日のみ)

※今後の状況により出演者が変更となる場合があります。

【発売日】

定期会員先行：11/11(木) 11:00am～ / 一般発売：11/16(火) 11:00am～

Conductor to be changed (November 2021 Subscription Ikebukuro Program A)

Fabio Luisi who was scheduled to conduct Ikebukuro Program A of the November 2021 Subscription Concerts (at Tokyo Metropolitan Theatre on Saturday, November 13th & Sunday, November 14th) will not be able to conduct the concerts as, due to his schedule, he cannot secure enough days for quarantine to meet immigration requirements, therefore Ryusuke Numajiri will take his place. The program and soloists remain the same.

Ryusuke Numajiri, conductor



Tokyo-born Ryusuke Numajiri studied at Toho Gakuen School of Music, and in 1990, won 1st Prize in the Besançon International Competition when he was in Berlin pursuing further studies.

Subsequently he was invited by world renowned orchestras including the London Symphony Orchestra, the Orchestre symphonique de Montréal, the Deutsches Symphonie-Orchester Berlin, the Orchestre Philharmonique de Radio France and the Sydney Symphony Orchestra to name but a few as guest conductor, while in Japan he occupied

important positions of major orchestras one after another. In Germany, he served as General Music Director of Theater Lübeck conducting operatic works as well as the theatre orchestra's concerts. As an opera conductor, he made guest-appearances with the Oper Köln, the Bayerische Staatsoper, the Komische Oper Berlin and Theater Basel. At Biwako Hall where he serves as Artistic Director, he took up *Der Ring des Nibelungen* over four years from 2017. The unattended performance of *Götterdämmerung* held in March 2020 amid the COVID-19 pandemic was transmitted by live-streaming and garnered a great deal of attention. He is Artistic Director of Biwako Hall and Music Director of the Tokyo Mitaka Philharmonia, and will assume the position of Music Director of the Kanagawa Philharmonic Orchestra from April 2022.

Mr. Numajiri first worked with the NHK Symphony Orchestra in January 1991 conducting "Wakai me no Concert" (concert with budding artists). Since then he has often returned to the orchestra, and in September 2021, he conducted its subscription concerts for the first time.

He was awarded the Medal of Honor with the Purple Ribbon by Emperor of Japan in the spring of 2017.

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを正しく常時着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。ただし状況により係りがもぎる場合があります。
- プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を

を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。

- 喫茶コーナーは会場により、営業縮小もしくは休止している場合があります。
- 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
- クロークは休止しております。
- ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
- 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
- スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
- 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)や自治体独自の通知アプリなどの活用を推奨いたします。

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、時計のアラーム等は必ずお切りください



演奏は最後の余韻までお楽しみください



場内での録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします



私語、パンフレットをめくる音など、物音が出ないように配慮ください



演奏中の入退場はご遠慮ください



補聴器が正しく装着されているかご確認ください

PHILHARMONY

CONTENTS
NOVEMBER 2021

11

- 3 [公演プログラム] Ikebukuro Program A
8 [公演プログラム] Program B
12 [公演プログラム] Ikebukuro Program C
15 [シリーズ] N響百年史 | 第23回 | 芝浦からが縁の始まり 片山杜秀
19 12月定期公演の聴きどころ—公演企画担当者から
21 チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)
22 2021-22定期公演プログラム
25 特別公演/各地の公演
29 NHK交響楽団メンバー
30 特別支援・特別協力・賛助会員
34 曲目解説執筆者/Information
35 みなさまの声を聞かせください!
36 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members
37 The Subscription Concerts Program 2021-22
40 役員等・団友

インターネットアンケートに ご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。ご協力をお願いいたします。

詳しくは35ページをご覧ください



こちらのQRコードから
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援


With Special Support of

岩谷産業株式会社

Iwatani Corporation

 三菱地所株式会社

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

 みずほ銀行

Mizuho Bank, Ltd.

公益財団法人 渋谷育英会

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて
©Lukas Beck

PROGRAM

池袋

A

第1942回 東京芸術劇場

11/13 土 6:00pm11/14 日 2:00pm

Concert No.1942 Tokyo Metropolitan Theatre

November

13 (Sat) 6:00pm

14 (Sun) 2:00pm

指揮
conductor

ファビオ・ルイージ

Fabio Luisi

ピアノ
piano

アレッサンドロ・タヴェルナ

Alessandro Taverna

コンサートマスター
concertmaster

伊藤亮太郎

Ryotaro Ito

ウェーバー

歌劇「魔弾の射手」序曲 [11']

リスト

ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 [21']

- I アダージョ・ソステヌート・アッサイ
- II アレグロ・アジタート・アッサイ
- III アレグロ・モデラート
- IV アレグロ・デチーゾ
- V マルツィアーレ：ウン・ポ・コ・メノ・アレグロ
- VI アレグロ・アニマーテ

— 休憩 (20分) —

フランツ・シュミット

交響曲 第2番 変ホ長調 [47']

- I 生き生きと
- II アレグレットと変奏
- III 終曲

Carl Maria von Weber (1786–1826)

“Der Freischütz,”

opera Op. 77–Overture

Franz Liszt (1811–1886)

Piano Concerto No. 2 A Major

- I Adagio sostenuto assai
- II Allegro agitato assai
- III Allegro moderato
- IV Allegro deciso
- V Marziale: Un poco meno allegro
- VI Allegro animato

— intermission (20 minutes) —

Franz Schmidt (1874–1939)

Symphony No. 2 E-flat Major

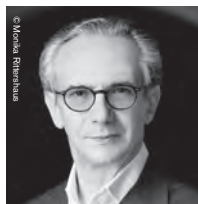
- I Lebhaft
- II Allegretto con variazioni
- III Finale

後援：豊島区

Under the auspice of: Toshima City

Artist Profiles

ファビオ・ルイージ(指揮)



なるほど、そうきたか——NHK交響楽団の2022/23年シーズンから首席指揮者に、ファビオ・ルイージが就くと聞いたとき、思わずそう唸ってしまった。まず、このコンビにはすでに名演奏が多くある。2017年客演時のマーラーの《交響曲第1番「巨人」》など、筆者は旅先の宿のラジオで聴いたのだが、尋常ならぬ熱気が小さなスピーカーからもびんびんと伝わってきて、驚かされたものだ。

ジェノヴァ生まれのイタリア人ルイージは、本格的なキャリアをグラーツ歌劇場で開始、その後もウィーン・トーンクンストラ管弦楽団、MDR交響楽団、ドレスデン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場など、多くドイツ語圏を活動拠点としてきた。明らかに独逸系の音楽を得意としており、そこからしてN響とは相性が良いのだろう。もっとも、早くもこの秋にフランツ・シュミットの《交響曲第2番》を取り上げるあたりをみると、独逸系といっても見過ごしがちな作品まで聴かせてくれそうだ。

また、スイス・ロマン管弦楽団、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場で要職にあったこともあり、現在はデンマーク国立交響楽団で首席指揮者を、ダラス交響楽団で音楽監督を務めている。母語とドイツ語のほか、英語、フランス語にも堪能で、さまざまな文化圏のさまざまなジャンルを期待できる人。クラシックでモダンなコスモポリタンなのだ。

[船木篤也／音楽評論家]

アレサンドロ・タヴェルナ(ピアノ)



1983年、イタリアのヴェネチア生まれ。2009年リーズ国際ピアノ・コンクールで第3位に入賞して一躍注目を集めた。そのほか、ロンドン国際ピアノ・コンクール、ブゾーニ国際ピアノ・コンクールなどで入賞。若き日には、イモラ国際ピアノ・アカデミーでレオニード・マルガリウスやボリス・ベトルシャンスキーらに、その後、ローマ聖チェチーリア国立アカデミーでセルジョ・ベルティカローリ、ハノーファー音楽大学などでアリエ・ヴァル

ディのもと学んだ。ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団などのオーケストラ、ロリン・マゼール、リッカルド・シャイー、ファビオ・ルイージ、ダニエル・ハーディングらの著名指揮者と共演している。その国際的なキャリアが評価され、2012年にイタリア共和国大統領賞を受賞した。イギリスの音楽評論家から「ミケランジェリの後継者」で、「その音楽づくりはヴェネチアを訪れた時のように感覚を刺激する」と評された。華やかさと繊細さ、豊かな個性を持ち合わせたピアニスト。N響とは初共演。

[高坂はる香／音楽ライター]

真に偉大な作曲家は、みずからの創意を羽ばたかせた末に、その創意を既存の音楽形式にあてはめるだけでは飽き足らず、新しい形式を生み出して新しい考えを表現しようとする。今回の曲目は、オペラ、協奏曲、交響曲と、ジャンルが違う。19世紀初頭のウェーバー、19世紀半ばのリスト、20世紀初頭のシュミットと、時代も違う。だが、三者に共通する温故知新の精神こそが、真に偉大な曲を後世へと残す力の源泉だと気付かせてくれることだろう。

ウェーバー

歌劇「魔弾の射手」序曲

いわゆる「ドイツ・ロマン派オペラ」の伝統を確立したカール・マリア・フォン・ウェーバー(1786~1826)。20歳代はドイツ各地を転々としながら指揮者、作曲家としての修業を積み、1804年にはブレスラウ(現ポーランドのヴロツワフ)歌劇場の楽長、1813年にはプラハ歌劇場の芸術監督、そして1817年にはドレスデン宮廷楽長の職を得る。宮廷歌劇場ではイタリア語によるオペラが上演されていたが、ウェーバーはドイツ語によって歌われる自作品の上演によって、貴族階級のみならず、一般の民衆からも広範な支持を得ることに成功する。1821年にベルリンで初演された《魔弾の射手》はドイツ各地で大きな反響を呼び、初演からの1年間で50回以上も上演されたという。

なによりもこの序曲が、それまでの標準的なオペラの序曲とは様相を異にしている。ソナタ形式としての実態を備えた堂々たる楽曲でありながら、劇中の重要場面の音楽を適宜用いてうまく組み合わせることで、ドラマ全体の「あらすじ」を描いてみせた。モーツァルトが《ドン・ジョヴァンニ》や《コシ・ファン・トゥッテ》の序曲で試みたのは、冒頭における重要場面の音楽的先取りであったが、ウェーバーの創意はさらにその先へと進んでいる。序奏(ハ長調)のユニゾン、ホルンの合奏でドイツの森へと誘われ、提示部では不穏な狼谷の場面(ハ短調)が第1主題、ヒロイン、アガータの明るくのびやかなアリアの旋律(変ホ長調)が第2主題として対置される。展開部では両主題がほぼ均等に扱われ、再現部では第1主題(ハ短調)、コーダ(終結部)では第2主題(ハ長調)が大々的に扱われ、物語の着地点を音楽でも予感させる。

作曲年代	1817~1820年
初演	1821年6月18日、ベルリン・シャウシュピールハウス(現在のベルリン・コンツェルトハウス)
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、弦楽

リスト

ピアノ協奏曲 第2番 イ長調

19世紀のヨーロッパ音楽界において、音楽の形式とその発展に多大な影響を与えた人物のひとりとして、当然フランツ・リスト(1811~1886)の名は欠かせない。もちろんリストはピアノ演奏のヴァルトゥオーゾであり、多くの弟子をとった偉大な教師であったが、作曲家としてのリストは、常に未来を見据え、新しい時代の作品を志向してもいた。

リストは《ピアノ協奏曲第2番》を、長い時をかけて改訂し続けている。最初に着手したのは1839年のこと。同年3月は史上初めてとなる、自身だけで一晩のプログラムを弾ききる演奏会(リサイタル)を催し、ピアニストとしての活動をさらに本格化させていく。5月には長男ダニエルが誕生、同年9月には協奏曲も一旦の完成を見ている。11月には自身の名声を決定づけるウィーンでの演奏会を成功させ、ヨーロッパ中を駆け回る充実した活動を繰り返した。

その後、大ピアニストとしての活躍を一段落させ、ワイマール宮廷劇場の楽長に収まった後となる1849~1850年、1853年に、本作は(《協奏曲第1番》とともに)改訂される。初演されたのは、作曲を手がけてから20年近くも経った1857年、弟子のブロンサルトの独奏によってであった(直前にもなお改訂されている)。

結局、出版されたのはようやく1863年のことだったが、当初そのタイトルは《交響的協奏曲 Concert symphonique》とされていた。このことから、協奏曲の改訂を重ねる中で、ピアノを主役とするよりはむしろ、オーケストラとの一体感を模索した作品にしようと考えていたことが窺われる。作品全体は6つの部分に分かれているが、伝統的な3楽章の協奏曲、すなわち「急(第1・2部)、緩(第3・4部)、急(第5・6部)」によって構成されているとも見做しうる。全曲が続けて演奏されるのは、ソナタ形式や多楽章様式をひとつに統合しようとした自身の交響詩や、《ピアノ・ソナタ ロ短調》などと共通の発想である。第1部(アダージョ・ソステヌート・アッサイ)冒頭主題は、第5部(マルツィアーレ)で行進曲風の主題へと変容。同様に、第3部(アレグロ・モデラート)冒頭の弦楽器主題は、その後でオーボエの独奏、第4部(アレグロ・デチーゾ)では対旋律として、まったくかたちを変えて用いられる。曲全体は少ない旋律によって緊密な統一感を保ちつつ、聴き手には多彩な楽しを提供する。リストはこの絶妙なバランスを、四半世紀にわたる試行錯誤によってようやく手に入れたのだろう。

作曲年代	1839年、1849~1850年、1853年、1856~1857年、1863年
初演	1857年1月7日、ワイマール、作曲者自身の指揮、ハンス・フォン・ブロンサルトの独奏
楽器編成	フルート3(ピッコロ1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、シンバル、弦楽、ピアノ・ソロ

フランツ・シュミット

交響曲 第2番 変ホ長調

19世紀末から20世紀初頭のウィーンで活躍した音楽家のなかでも、フランツ・シュミット(1874~1939)は近年その存在感をいよいよ増している。ハンガリー語とドイツ語を話す家庭に生まれたシュミットは、1867年以降、二重帝国となったハプスブルク帝国の象徴のような存在ですらある。ピアノとチェロ、音楽理論を学びつつ、ウィーン音楽院では錚々たるメンバーから教えを受け、引退間際のブルックナーの講義にもかろうじて間に合っている。1896年にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(宮廷歌劇場管弦楽団)のチェロ奏者に選ばれ、グスタフ・マーラーが君臨する宮廷歌劇場でも研鑽を重ねた。

マーラーが亡くなった1911年、シュミットはウィーン・フィルのチェロ奏者を辞し(歌劇場の職は継続)、ピアニスト、室内楽奏者としての活動、そして《交響曲第2番》の作曲に、より一層の時間を費やすようになった。1913年には《交響曲第2番》が初演、1914年には歌劇場の職も辞して、ウィーン国立音楽アカデミーのピアノ科教授へと転身し、《歌劇「ノートル・ダム」》もウィーン宮廷歌劇場で初演された。

大規模なオーケストラを擁する本作は3つの楽章から構成されている。穏やかに始まる第1楽章、変ホ長調による第1主題が醸し出す雰囲気から「田園交響曲」と呼ばれることもしばしばだが、第2主題がかなり遠いロ長調とされるのは、やはり同時代の風を感じさせる。両端楽章よりも規模の大きい第2楽章は、民族的な主題と10の変奏曲という体裁をとりつつ、舞曲風の間奏部をうちに含んでおり、伝統的な2つの中間楽章をひとつにまとめようとしたのだろう。冒頭楽章と同様、静かに始まる Rond 形式の第3楽章では、第2楽章の主題を対位的に発展させ、第1楽章の主題も用いながら、終結部の高揚に向けて歩を進める。各所で効果的に用いられるタムタム(ドラ)は、やはり死を象徴するなんらかの意味合いを持ち合わせているのだろう。歌劇場のチェロ奏者として数々のオペラに接したシュミットの経験は本作にも活かされているが、その中でもクライマックス(変奏主題の再提示)に至る音楽の歩みや管弦楽法は、リヒャルト・シュトラウスの《歌劇「火の欠乏(フイヤースノート)》(マーラー指揮によるウィーン初演:1902年)〈愛の場面〉の影響が顕著ではなかろうか。

作曲年代	1911年4月~1913年7月
初演	1913年12月3日、ウィーン宮廷歌劇場管弦楽団、指揮フランツ・シャルク
楽器編成	フルート3、ピッコロ1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット3、Esクラリネット1、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン8、トランペット4、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ2、小太鼓、トライアングル、タンブリン、サスペンデッド・シンバル、シンバル、大太鼓、タムタム、弦楽

PROGRAM

B

第1944回 サントリーホール

11/24 水 7:00pm

11/25 木 7:00pm

Concert No.1944 Suntory Hall

November

24 (Wed) 7:00pm

25 (Thu) 7:00pm

指揮
conductor

ファビオ・ルイージ | プロフィールはp.4

Fabio Luisi

ヴァイオリン
violin

フランチェスカ・デゴ

Francesca Dego

コンサートマスター
concertmaster

篠崎史紀

Fuminori Maro Shinozaki

バガニーニ

ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調

作品6 [35']

I アレグロ・マエストーン

II アダージョ

III ロンド: アレグロ・スピリトソ

— 休憩 (20分) —

チャイコフスキー

交響曲 第5番 ホ短調 作品64 [50']

I アンダンテ・アレグロ・コン・アニマ

II アンダンテ・カンタービレ、
コン・アルクーナ・リチェンツァ

III ワルツ: アレグロ・モデラート

IV 終曲: アンダンテ・マエストーン
— アレグロ・ヴィヴァーチェ

Nicolò Paganini (1782-1840)

Violin Concerto No. 1 D Major Op. 6

I Allegro maestoso

II Adagio

III Rondo: Allegro spiritoso

— intermission (20 minutes) —

Peter Ilich Tchaikovsky (1840-1893)

Symphony No. 5 E Minor Op. 64

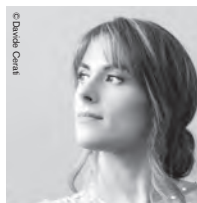
I Andante - Allegro con anima

II Andante cantabile, con alcuna licenza

III Valse: Allegro moderato

IV Finale: Andante maestoso - Allegro vivace

フランチェスカ・デゴ (ヴァイオリン)



イタリアの若い世代を代表するヴァイオリニストのひとり。イタリア北部、スイスとの国境に近いレッコに生まれた。父親は詩人・作家のジュリアーノ・デゴ。アマチュアのヴァイオリニストでもあった父の影響で、4歳からヴァイオリンを始める。ミラノ音楽院、英国王立音楽大学で学ぶ。2008年、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで入賞し、最年少の決勝進出者に贈られる「エンリコ・コスタ」特別賞を受賞。以後国際的に活躍し、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、トリノ王立歌劇場管弦楽団、ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団などのオーケストラに客演。NHK交響楽団とは今回が初共演である。得意のパガニーニで、明るく魅力的な音色と歌に満ちた演奏を聴かせてくれるに違いない。現在はロンドンを拠点に活動を行っている。

録音では、ダニエーレ・ルスティオーニ&バーミンガム市交響楽団との《ヴァイオリン協奏曲第1番》とヴォルフ・フェラーリの《ヴァイオリン協奏曲》、パガニーニの《24の奇想曲》などがある。使用楽器はフランチェスコ・ルジェーリ(1697年製)。

[山田治生 / 音楽評論家]

Program Notes | 千葉 潤

19世紀市民社会の進展とともに演奏会制度が発達し、数々の技術革新で聴衆の喝さいを浴びたパガニーニ。そして、世紀後半におけるナショナリズムの隆盛を背景に、西欧音楽の動向やロシア社会の変動に機敏に対応しながら独自の道を歩んだチャイコフスキー。19世紀ヨーロッパ社会と音楽の多面的・多角的な関係を体現する2人の作品を、後期ロマン派を得意とする巨匠ルイーゼのタクトで体験したい。

パガニーニ

ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6

19世紀前半のヨーロッパ社会では産業化が進み、音楽界でも多方面にその影響が現れた。実証主義や科学主義に基づく“技術偏重”のあおりを受けて、家庭ではピアノ運指のエクササイズやトレーニング器具が流行する一方、演奏会はますます広範な聴衆を集めるようになり、彼らの趣味は高級志向と通俗志向とに両極化した。そこで一世を風靡したのが、見世物的な演奏技巧を武器に観客のウケを狙う演奏家、いわゆる「ヴィルトゥオーゾ」であり、中でもひと際抜きん出た存在が、イタリアのヴァイオリニスト、

ニコロ・パガニーニ(1782~1840)である。当時としては奇想天外な技巧の数々と、長年にわたる病苦が刻印された不気味な相貌が相まって、「悪魔に魂を売ったヴァイオリニスト」とまで評されたが、そのロマンティックな伝説の陰には、楽器の機能と技法を合理的に追及して職人芸にまで練り上げ、冷静に演出効果を計算する“実務家パガニーニ”の顔があったことを忘れてはなるまい。

ともあれ、パガニーニが本格的に名声を確立したのは、^{よかい}年齢50が近づいた1830年前後のヨーロッパ旅行であり、それまでの^{しよく}雌伏期間、彼はイタリア各地を回って、独自の技巧に磨きをかけながら機が熟するのを待った。《ヴァイオリン協奏曲第1番》もこの時期の作品であり、明るく優美な旋律と超絶技巧がヴァイオリンの魅力を引き立たせる。

第1楽章 アレグロ・マエストーソ、4/4拍子、ニ長調、ソナタ形式。ロッシーニのオペラ序曲を^{ほうふつ}彷彿させる^{はつらつ}潑刺とした序奏に始まり、独奏ヴァイオリンが伸びやかな主題を提示しながら、個性的な技巧で装飾していく。特に、3度の対による迅速な重音奏法や、「フラジヨレット」と呼ばれる高音域の倍音奏法が見どころ・聴きどころだ。

第2楽章 アダージョ、4/4拍子、ロ短調、3部形式。この楽章でも、オペラ・アリアの主人公のように、独奏ヴァイオリンが叙情的な旋律を歌い上げる。中間部でのオーケストラも、やるせないセレナードを伴奏するギター風のピチカートや、悲劇的な運命を暗示するようなトロンボーンの音型など、オペラ的な雰囲気^{きふき}に富んでいる。

第3楽章 ロンド：アレグロ・スピリトーソ、2/4拍子、ニ長調。弦の上で弓を跳ねさせながら迅速にスタッカート^{すたかーと}を弾く「リコシェ」、パガニーニの代名詞ともいべき左手のピチカート、高音域での「重音フラジヨレット」など、現代ヴァイオリン奏法の基礎となった超絶技巧の本来の魅力が鮮やかに発揮される。

作曲年代	1816年、1817年など諸説あり
初演	1819年、作曲者の独奏、ナポリにて
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット1、コントラファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、サスペンデッド・シンバル、弦楽、ヴァイオリン・ソロ

チャイコフスキー

交響曲 第5番 ホ短調 作品64

自伝的な内容を吐露する作曲家と思われがちなピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840~1893)だが、その創作は、帝政ロシア社会や、西欧・ロシア双方の音楽界の動向とも密接に関連していた。当時のロシアでは革命派テロリストにより皇帝が暗殺され、跡を継いだアレクサンドル3世は、国内の民主化運動を厳しく弾圧した半面、芸術文化を保護してロシアの国際的イメージを高めることに意を尽くした。その立役者こそ、

国際的作曲家チャイコフスキーである。悪の妖精の呪いで眠りに落ちたオーロラ姫が、王子のキスによって100年後に目覚める《バレエ音楽「眠りの森の美女」》の物語は、ちょうどフランス革命から100年を経た当時の帝政ロシアへの壮大な賛美にほかならない。暗いホ短調で始まった《交響曲第5番》が、最後には力強いホ長調の行進曲で締めくられるのも、同じく誠実な愛国心の表明と考えられるのである。

一方、この曲の音楽的特徴は、冒頭クラリネットの低音によって提示される循環主題が、まるで運命に翻弄されるドラマの主人公のように、意匠を変えながら全ての楽章に現れる点にある。これは、《第5番》の3年前に完成した標題交響曲《マンフレッド》(1885)の手法を応用したものだが、元をたどれば、フランスのベルリオーズが《幻想交響曲》(1830)の“主人公”を表すために開拓した「固定楽想」^{さかのぼ}に遡る。しかしながら、《マンフレッド》の完成後、文学的な標題内容と交響曲の器乐的論理との融合に違和を感じたチャイコフスキーは、《第5番》では標題を排除しつつも、循環主題の変容によって交響曲全体の音楽と心理の流れを一体化させ、ドイツ的な交響曲様式に得意とするオペラやバレエの特徴を盛り込みながら、後期ロマン派にふさわしい独自の世界を構築したのである。

第1楽章 アンダンテ—アレグロ・コン・アニマ、ホ短調、6/8拍子、序奏付きのソナタ形式。展開部では6拍子の特徴を生かし、2分割(3拍+3拍)と3分割(2拍+2拍+2拍)の2通りのリズムを対立させながら、激しいクライマックスを築き上げる。

第2楽章 アンダンテ・カンタービレ、コン・アルクーナ・リチェンツァ、ニ長調、12/8拍子、3部形式。ホルン独奏を主役とするオペラの一場面のように叙情的な音楽が展開されるが、その情熱^{ほとほし}の迸りは、循環主題の出現によって突然中断される。

第3楽章 ワルツ：アレグロ・モデラート、イ長調、3部形式。歌謡的な前楽章に対して、こちらでは妖精や村人たちが舞い踊るバレエさながらに、多彩なリズムの絡み合いが小気味よい効果をあげる。最後に忘れていた循環主題が皮肉っぽく顔をだす。

第4楽章 終曲：アンダンテ・マエストーソーアレグロ・ヴィヴァーチェ、ホ短調—ホ長調、序奏付きのソナタ形式。堂々とした頌歌に転じた循環主題によって開始されるが、音楽は再び激しい動機展開の流れに呑み込まれ、オーケストラ全体の大きな問いかけのあと、確信に満ちた輝かしい行進曲によって結ばれる。

作曲年代	1888年5月～8月
初演	1888年11月17日(旧ロシア暦では5日)、作曲家自身の指揮、サンクトペテルブルクにて
楽器編成	フルート3(ピッコロ1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、弦楽

PROGRAM



第1943回 東京芸術劇場

11/18 木 7:30pm*

11/19 金 7:30pm

★通常土曜日の公演(C-2)を
木曜日7:30pmに開催します

Concert No.1943 Tokyo Metropolitan Theatre

November

18 (Thu) 7:30pm*

19 (Fri) 7:30pm

★The concert (C-2) usually held on
Saturday will be held on Thursday at
7:30p.m. this month.

指揮
conductor

ファビオ・ルイーヂ | プロフィールはp.4

Fabio Luisi

コンサートマスター
concertmaster

白井 圭

Kei Shirai

[開演前の室内楽(池袋Cプログラム限定)]

18日(木)6:45pm~/19日(金)6:45pm~

ヴァイオリン: 宇根京子、大宮臨太郎

ヴィオラ: 佐々木 亮、坂口弦太郎

チェロ: 宮坂拓志

ブルックナー/弦楽五重奏曲 ヘ長調 第三楽章

※演奏はご自身の座席でお楽しみください。

※演奏中の客席への出入りは自由です。

[Pre-concert Chamber Music

- Exclusive to Ikebukuro Program C]

Thursday 18th from 6:45pm / Friday 19th from 6:45pm

Kyoko Une (vn.), Rintaro Omiya (vn.), Ryo Sasaki (va.),

Gentarō Sakaguchi (va.) & Hiroshi Miyasaka (vc.)

Bruckner / String Quintet F Major - 3rd Movement

*You may enter and leave as you please during the
performance.

*Enjoy chamber music from your own seat.

ブルックナー

交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」

[70']

I 動きをもって、速すぎず

II アンダンテ・クワジ・アレグレット

III スケルツォ: 動きをもって—

トリオ: 速すぎず、決して引きずらないように

IV 終曲: 動きをもって、しかし、速すぎず

*この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Anton Bruckner (1824-1896)

Symphony No. 4 E-flat Major

“Romantische”

I Bewegt, nicht zu schnell

II Andante quasi Allegretto

III Scherzo: Bewegt - Trio: Nicht zu schnell,
keinesfalls schleppend

IV Finale: Bewegt, doch nicht zu schnell

*This concert will be performed with no intermission.

後援: 豊島区

Under the auspice of: Toshima City

彼方^{かなた}から聞こえて来るかのような、あるいは聴く者を彼方へと誘うかのような調べ。ドイツ・ロマン主義の時代、多くの作曲家や詩人たちがホルンの音色に、そしてそれが連想させる森の世界に魅せられた。現実の軛^{くびき}から解き放たれ、自由に想像力を羽ばたかせることができる場所、それがロマン主義の森である。どこか浮世離れたイメージのあるアントン・ブルックナー(1824~1896)だが、彼もまたこの楽器の音色を基調とした「ロマンチック」な交響曲を作曲することで、森への憧^{あこが}れを表明したのだった。

冒頭のホルンのソロに耳を澄まそう。広大なブルックナーの森があなたを待っている。

ブルックナー

交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」

《交響曲第4番》は、《交響曲第3番》の総譜が完成したわずか2日後の1874年1月2日に着手された。作曲は順調に進み、同年の11月22日には完成を見ている(1874年稿)。

この年、ブルックナーは希望と絶望の狭間で大きく揺れ動いていた(もともとこの作曲家の場合、そうではない時期を探す方が難しいのだが)。パイロイトに向向いてリヒャルト・ワーグナー(1813~1883)のもとを訪れたのが前年の9月。「巨匠中の巨匠」と呼んで崇拝していたワーグナーに《第3番》の献呈を受け入れてもらい、交響曲作家としての孤独な道のりに光が差したような心地だったに違いない。その一方で、ウィーンに上京してきて以来、未だ目立った成功を得ることができていなかった彼の前には、収入の確保という現実問題が立ちはだかっていた。作曲の筆を進めるかたわら、ブルックナーはこの年、ウィーン大学への音楽理論講座の新設を求めて各方面に働きかけている(もちろん、その講座で教鞭を執るのが彼の望みであった)。しかし、それが聞き入れられることはなく、さらに4年前から続けていた教員養成学校での職までこの年に失ってしまった。ブルックナーは翌年の2月13日、古くからの友人に宛てた手紙の中で、完成した《第4番》の筆写譜の作成すら依頼できないほど経済的に困窮^{こんきゆう}していることを打ち明けている。

1877年の秋ごろ、ブルックナーは初演の機会がないまま放置されていた《第4番》の総譜に手を加える決意を固め、年が明けてから本格的な改訂作業に乗り出した。その際、第3楽章を新たに作曲し、第4楽章にも大幅に手を加えている(1878年稿)。さらに1879年から次の年にかけても第4楽章をさらに練り直し、新たに書き上げた総譜を1878年稿のものとは差し替えている。こんにち最もポピュラーなのがこの1878/80年稿で、今回の公演でもこの稿が使用される。

大きく姿を変えた《第4番》は、1881年2月20日、ハンス・リヒターの指揮により初めてウィーンの聴衆に披露された。ただし、改訂作業はこれで終わったわけではなく、初版

譜の出版に向けて、ブルックナーは1888年に管弦楽法の変更や第4楽章の大幅なカットなど、この交響曲にさらなる改訂の手を加えている(1888年稿)。その際、周囲の知人たちの介入があった可能性が高いが、本人はこの改訂が自発的なものであったと主張している。

ブルックナーは、作曲当初からこの交響曲を「ロマンティッシェ・シンフォニー」と呼んでいた(こんにち親しまれている「ロマンチック」の副題はこれに由来する)。また、周囲の理解を得るため、各楽章または主題のイメージを手短にはあるが説明したりしている。それをどれだけ真に受けるべきかについてはブルックナー研究者の間でも議論が絶えないが、少なくともこの交響曲に彼が抱いていた森の世界のイメージが投射されているのは確かだろう(以下、カギ括弧で囲んだのはすべて作曲家自身のことば)。

予感を孕んだホルンのソロとともに始まる**第1楽章**は、ブルックナー特有の3つの主題によるソナタ形式。「全き夜の静寂の中、ホルンが一日[の始まり]を告げます」。いわゆるブルックナー・リズム(2+3)を無骨に刻む第1、第3主題に対して、第2主題部では跳ねるように「〈ツィツィペー〉と啼くシジュウカラの歌」が叙情的な旋律と絡み合う。

第2楽章は「歌、祈り、小夜曲」。低弦がピチカートで奏でる規則的なリズムは孤独な巡礼者の歩みを思わせる。静謐な祈りに包まれた音楽は、やがて訪れるカタルシスに向けて高揚してゆく。

第3楽章は「狩り」のスケルツォ。ホルンの勇壮なブルックナー・リズムに乗って、狩人たちは森の中を進んでゆく。トリオでは一転して、素朴なレントラーに。「食事の際に狩人たちのために奏でられる踊りのメロディー」。

第4楽章も3つの主題のソナタ形式。暴力性すら帯びた不気味な第1主題を経て、第1楽章冒頭の付点リズムが堂々と回帰する。神秘的な高揚の末、楽章の最後に辿りつくのもまたこの付点リズムである。こうして、森のイメージが折り重なるこの交響曲全体に大きなアーチが架けられる。

作曲年代	1874年1月2日～11月22日、その後1878～1880年と1888年に改訂
初演	[1878/80年稿] 1881年2月20日(ウィーン)、ハンス・リヒター指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、弦楽

N響百年史

第二十三回 芝浦から縁の始まり

片山杜秀
Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK「FM」クラシックの迷宮のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、時代背景とともにN響の歴史をひもときます。日露交驩交響管絃楽演奏会^{こゝろ}で来日した演奏家たちは、日本のクラシック音楽に画期をもたらすだけでなく、その後の公共放送の歴史にも深く関わっていきます。

日本のクラシック音楽のビッグバンと放送の夜明け

東京から、名古屋、京都、大阪、神戸へ。そして再び東京に戻って告別のコンサート。1925（大正14）年の4月から5にかけて、山田耕筰と近衛秀麿^{このえひでまろ}の指揮する日露交驩^{こゝろ}（交歓）交響管絃楽演奏会は、慌ただしく東海道と山陽道を巡演した。ソ連から、そしてハルビンから、合わせて33名の訪日演奏家の鳴らす、量感と色彩に溢れた響きは、時間と空間を共有できた日本人を圧倒した。共演した日本のプレイヤーたちは、いつもこのような本格的交響楽団の中で演奏できたらどんなに幸せだろうと、心底から思った。演奏会を聴きに出かけた大正ブルジョワジーと呼ばれるべき階層に属する人々も、この国にも常設の上手なプロのオーケストラができてよい頃合いではないのか、月に1回聴きに行くくらいなら、お金の余裕も心構えも十分にあるぞという気持ちになった。

山田が三菱の岩崎小彌太^{こやまた}に後押しされ、大正の初めから深入りし、以来、辛酸をなめるばかりだった日本のプロ・オーケストラ運動史も、ついに大飛躍の時を迎えようとしているのか。今ならやれる！ 楽員たちに毎月暮らせるだけの給料を払えるプロ交響楽団を作っても、これまでとは違って、きっと軌道に乗せられる！ そうした熱烈たる思いは、特に日本の演奏家たちのあいだに澎湃^{ほうはい}として巻き起こり、もう誰にも止められない。日露交驩交響管絃楽演奏会は時と所を見事にとらえ、日本のクラシック音楽界のポテンシャルを一気に噴出させる大爆裂弾であった。

さて、そんな華麗なる祭りの合間に、訪日メンバーからよりぬきの4人が弦楽四重奏団を組んで、東京の芝浦に現れた。第1ヴァイオリ

ンはニコライ・シフェルブラット。日露交驩交響管絃楽演奏会のための臨時混成オーケストラでコンサートマスターを務め、のちに近衛秀麿時代の新交響楽団(現NHK交響楽団)の指揮者として活躍する。第2ヴァイオリンはウラディーミル・トラフテンベルク。のちに満洲国時代のハルビン交響楽団のコンサートマスターとして名を馳^はせる。ヴィオラはヨーゼフ・ケーニヒ。ヴァイオリンとヴィオラの両方に熟達し、指揮もする。来日演奏家グループの副長だ。シフェルブラットに先んじて東京に移り住み、新交響楽団を音楽的にも技術的にも、若い近衛を助けながら、育てることになる。新交響楽団の歴史は近衛と共に始まるが、それはケーニヒとシフェルブラットの時代でもあったといってよい。オーケストラの経験^を山と積んだ、優れた西洋の楽人が東京に住んで、いつも一緒にやっていたから、NHK交響楽団の歴史もできた。そしてチェロはワシーリ・プリホーチコ。この4人はみんなハルビンから来た組に属する。ハルビンでは室内楽も共にやる仲間たちであった。

はて、彼らは何しに芝浦へ？もちろん演奏のためだが、対面のコンサートではない。無観客のラジオ出演である。芝浦には官立の東京高等工芸学校があった。のちに千葉県に移転し、現在の千葉大学工学部につながる。その学校の構内に、日本放送協会に発展することになる、社団法人東京放送局の仮スタジオが設けられていた。日露交驩交響管絃楽演奏会とこの国の放送の夜明けは、ピッタリ被^{かぶ}った。

ラジオ放送の黎明期

ラジオ放送は1920(大正9)年前後、欧米で始まり、マス・コミュニケーションのありようを猛

烈な勢いで革新しつつあった。その流れを率先したのはアメリカ。きっかけはやはり第1次世界大戦である。かのグリエルモ・マルコーニがイタリアのボローニャの近くで無線通信の実験に成功したのは、1895(明治28)年といわれる。日清戦争の頃だ。それから技術は急ピッチで向上した。日露戦争から第1次世界大戦へ。無線通信は、まずは軍事利用の面から最も注目された。戦場での軍隊の連絡には、有線の電話もだけれど、無線通信機が役に立つ。工兵が電話線を架けなくてもすむ。1914(大正3)年からの第1次世界大戦はとてつもなく長期化し、戦線は拡大し、動員される諸国の軍隊は常時何百万人の規模となり、部隊間の連絡は煩雑さを増す一方。無線通信こそ救いの神ではないか。機材の需要はうなぎのぼり。

そんな中、欧州の連合国側の軍需の支えとなり、やがて自らも参戦したのは、大工業国のアメリカである。RCAにゼネラル・エレクトリックにウェスタン・エレクトリック。アメリカの電機会社は無線通信機の生産を競った。増産につぐ増産。工場も続々新設。でも終わらない戦争はない。1918(大正7)年、ドイツ帝国の腰がついに砕けた。アメリカの軍需諸産業に衝撃が走る。無線通信機も在庫の山。拡大した生産設備を休ませるしかないのか。それでは設備投資の回収がまるまるとできない。アメリカの電機製造業界はにわか^にに危機を迎えた。

そこで名案！軍需がだめなら民需。軍用の無線送受信機の製造ラインを、民用の受信専用機^ののそれに^を変えてしまう。要するにラジオだ。アメリカでは、第1次世界大戦中にニュースの実験放送なども少し行われていた。ラジオ放送の黎明^{れいめい}である。あとは夜明けの太陽をどんどん昇らせればよい。ニュースに音楽にラジオ・

ドラマ。朝から晩まで電波に番組を乗せ、民衆を楽しませる。そのために放送局を作る。ラジオを聴かなければ文明社会に乗り遅れるぞ！

広告宣伝で煽れば、アメリカはたちまちラジオの国になるだろう。映画は映画館に足を運ばねば観られないし、レコードも買わねば聴けないが、何しろラジオは家の部屋の隅にでも置いておけば、世界の出来事からシェークスピア劇にオペラまで、何でも万人の耳に届くのだ。これはもう文化の大革命だ。

ならばラジオ放送局を作らねば。電機会社自ら放送業を始めるのが手っ取り早い。かくしてアメリカでは、大手から中小までの電機会社が競ってラジオ局を立ち上げ、アナウンサーや俳優や楽士を雇って、放送を始めた。アメリカは自由競争の国。電波行政もそれに沿ってなかなか鷹揚。一地域に複数の民間放送局の設置を認めた。聴取者はいろんな局の番組を選んで楽しむ。競争原理が働きまくり、面白い番組が雨後の筍のごとく育つ。1922(大正11)年には、アメリカ全土のラジオ局の総数は600近くに達したという。ラジオの時代はあまりに急にやってきた。すぐに欧州も後を追った。

とはいえ、欧州のラジオは、アメリカ型の民放の乱立と競争というモデルとは、かなり違いかたちを取っていった。つけておくだけでいくらか情報が入ってくるラジオ放送の民衆への影響力を、欧州諸国は重く見た。新聞や雑誌をはるかにしのぐ電波という怪物が、民間企業の利益追求の道具になり、複数のラジオ局がセンサーシヨナリズムを武器に競い合い始めたりしたら、たまったものではない。どんなに安定性のある社会も、対立を煽られて、たちどころに壊れるだろう。公共性の強い電波は、国家によってなるだけ管理統制されるべきだ。濃淡の差はあれ、欧州諸国の考え

方はそういうものであった。もちろんその方向をいちばん極端に突き進めたのは、ソ連ということになる。レーニンがラジオを、紙と運送という2つの桎梏を超克した未来的新聞と呼んだそう。未来的新聞が伝える中身は、ソ連共産党のイデオロギーと政策だけでよい。ラジオ局としては国営放送がひとつあればよい。自由放任のアメリカと一党独裁のソ連は、ラジオについても水と油であった。

公共放送と交響楽団

すると日本は？ 昔も今もアメリカの影響を受けやすい国である。ラジオもアメリカのようにやれないか。たくさんの民放が競い合う。同じ地域にいくつもの電波が流れる。民放の稼ぎはコマーシャルだろう。聴取者の多い番組を作り、広告を取って儲ける。受信機も売れて電機業界も潤う。アメリカ方式で好循環が生み出せる。東京と大阪の朝日新聞社、東京日日新聞社、報知新聞社などがラジオ局設置へと名乗りを上げた。新聞も放送も。日本の新聞社にはメディア支配の意欲が旺盛だったということだ。アメリカと同じ電機会社も意欲を示した。東京電気や島津製作所や芝浦製作所である。だいたい1921(大正10)年以降の話である。その頃は加藤友三郎内閣で、放送を所管する逓信省の大臣は前田利定。複数の放送局開設希望業者に試験放送を許したりした。政府もアメリカ型で行く気ではないか。そんな観測が強くあった。

ところが、散発的な試験放送から先に進まぬうち、潮目を大きく変える大事が勃発する。1923(大正12)年9月1日の関東大震災である。無線通信は内外に関東の状況を伝え、救援を求

めることに役立った。が、ラジオ放送がまだ始まっておらず、新聞も来なくなった東京や横浜では、朝鮮人が放火しているとか井戸に毒を投げ込んでいるとかの流言飛語が跳梁跋扈して大混乱が生じ、日本の文明国としての国際的威信の低下さえ招いた。無線電信の社会的重要性は増す一方であり、次なる震災に備えるためにも早くラジオ放送を始めるべしというのが世論になった。が、それがアメリカ型の民放の乱立であってよいものだろうか。もしも震災や暴動や革命等の混乱時に、複数のラジオ局が同じ地域で相異なる内容の放送を行ったらどうなるか。放送は諸刃の剣。かえって混乱を増幅することもありうる。やはり日本ではアメリカ型は不可である。一地域一ラジオ局に限定し、官憲の目のよく届くかたちで放送を行うのが良い。震災後の山本権兵衛内閣と加藤高明内閣で通信大臣を務めた犬養毅がとりわけそういう方針を打ち出した。自前のラジオ局を作りたかった、新聞社や電機会社や電信電話会社は、失望し抗議し異を唱えた。

けれども政府は譲らない。営利を目的とし、聴取者を増やすために煽情的番組の製作にばかり走るに違いない民間放送局が複数、同一地域内で競い合うなんてことは、やはり言語道断だ。非営利の姿勢で公共のために尽くす国営放送こそ理想である。そう考えた。でも、政府予算が震災復興のために大きく食われている状況で、新規事業の立ち上げは難しい。

ならばどうする？ 民間放送でも国営放送でもない第三の道が探求された。その名を公共放送という。国家予算でも広告収入でもなく、

聴取希望者と契約し、放送局運営に必要なとみなされる適正な聴取料をいただいて、それを財源とし、利益はなるべく残さぬようにして、公共のために、市民の教育や教養形成に役立ち、安寧なる社会建設に寄与するために、番組を制作し、放送する。そこでは娯楽よりも文化や芸術や教養が重視される。学者の講演や日本の伝統音楽や西洋クラシック音楽の放送が大切にされる。自前のオーケストラを持っていてもいいかもしれない。政府は、一地域一放送局の原則に立つ公共放送網の建設を主導し、利益追求を第一義としない社団法人として、東京放送局、名古屋放送局、大阪放送局を次々と誕生させた。

社団法人東京放送局の設立は1924(大正13)年11月29日。初代総裁は後藤新平。公共放送に不可欠と考えられた西洋クラシック音楽の番組編成の相談には、当初から山田耕筰が乗っていた。日露交驩交響管絃楽演奏会実現のために山田が後藤と縁を取り結んでいたことが、利いているのであろう。放送局設立から約半年後の仮放送の番組にシフェルプラッタらが出演したのも、山田の仕込みというわけである。NHK交響楽団とNHKの縁は、両者の誕生する前から始まっていた。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファンズム』『見果てぬ日本』『尊皇攘夷』ほか著書多数。

次回予告

日露交驩交響管絃楽演奏会の翌1926年、山田耕筰は日本交響楽協会を組織。しかし近衛秀磨らは脱退して、新団体を立ち上げます。

12月定期公演の聴きどころ

公演企画担当者から

ロマン派以降、殊に19世紀の終わりには、詩や哲学、絵画といった他ジャンルの創作から刺激を受け、多彩な音楽が生み出された。来月はそうした作品をメインにお送りする。登場する3人の指揮者はいずれも40代初めから半ばで、この世代をリードする気鋭。世界各地のオーケストラで着実に地歩を固めており、今後の飛躍がますます楽しみである。

シェーンベルクの匂い立つ官能性を 躍進中の山田和樹のタクトで堪能する

[池袋Aプログラム]の山田和樹は、2019年4月の《ペレアスとメリザンド》に続き、シェーンベルクを取り上げる。《浄められた夜》のもとになったのはデーメル^{デーメル}の詩。苦悩を超克し、未来を切り開こうとする男女の心理を象徴的に描いている。世紀末ウィーンの薫りに限りなく惹かれるという山田が、無調以前のシェーンベルクの匂い立つ官能性、半音階を駆使して描かれる細やかな感情の起伏を、コロナ禍^かで磨きかけたN響の弦楽合奏とともに、自

在に表現してくれることだろう。

R. シュトラウスもまた、デーメルを含め、詩作を創造の泉とした。《4つの最後の歌》は、ヘッセとアイヒェンドルフの詩に基づく。こちらは対照的に、老境に到った作曲家による人生への惜別の辞。山田が共演を強く望んだ佐々木典子の円熟の歌唱で聴く。

冒頭は《ハイドンの主題による変奏曲》。N響得意のブラームスを選んだところに、最近の山田の充実^{うかが}ぶりと自信が窺える。

期待の気鋭が贈る 〈哲学者〉がテーマのプログラム

[Bプログラム]のディマ・スロボデニュークはモスクワ生まれ、フィンランドと縁の深い指揮者。2019年夏のツアーで演奏したシベリウスが好評を博し、初めての定期招聘となった。《交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」》はニーチェの哲学書に着想を得た作品で、大編成を擁する複雑なスコアの読み解きは、現代音楽のスペシャリストでもあるディマの得意

とするところ。幾分のユーモアを込めて《哲学者》のニックネームを持つハイドンの交響曲と組み合わせる。

ソリストはディマと相性抜群、今年60歳の節目を迎えたトランペットの第一人者、ホーカン・ハーデンベルガー。オーストリアの作曲家、HK グルーバーの《エアリアル》は、3種類の楽器を使い分けるなど、彼のために技巧の限りを尽くして書かれた難曲で、既に欧米では80回以上演奏されているが、今回ようやく待望の日本初演を迎える。

母国の名曲を携え ロシアの俊英が10年ぶりに登場

[池袋Cプログラム]ではロシアのワシーリ・ペトレンコが10年ぶりにN響の指揮台に立つ。絵画に靈感を得た名曲は数々あるが、何

と言ってもその代表格はムソルグスキー《展覧会の絵》。友人の画家の遺作展で見た絵が作曲のきっかけとなった。きらびやかなラヴェルの編曲で親しまれるが、ペトレンコは長く首席指揮者を務めたロイヤル・リヴァプール・フィルとの録音で、重心の据わった迫力ある演奏を繰り広げている。《ブイドロ》《バーバ・ヤガーの小屋》などでは、テーマの歴史的背景まで^{あよ}炙り出すかのようだ。

チャイコフスキー《ロココの主題による変奏曲》もロシアを代表する名曲。ソロはペトレンコと同年生まれで、未来の巨匠との呼び声も高いダニエル・ミュラー・ショット。こちらも2013年2月定期公演以来、久々の共演となる。

[西川彰一/NHK交響楽団演奏制作部長]

※mélomane：フランス語で「音楽愛好家」の意

池袋 **A** 12/4 土 6:00pm
12/5 日 2:00pm

東京芸術劇場

ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a
R. シュトラウス／4つの最後の歌
シェーンベルク／浄められた夜 作品4
指揮：山田和樹
ソプラノ：佐々木典子



池袋 **B** 12/15 水 7:00pm
12/16 木 7:00pm

サントリーホール

ハイドン／
交響曲 第22番 変ホ長調 Hob.I-22「哲学者」
HK グルーバー／エアリアル [日本初演]*
R. シュトラウス／
交響詩「ツァラトストラはこう語った」作品30
指揮：ディマ・スロボデニューク
トランペット：ホーカン・ハーデンベルガー*



池袋 **C** 12/10 金 7:30pm
12/11 土 2:00pm

東京芸術劇場

チャイコフスキー／
ロココ風の主題による変奏曲 作品33*
ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲「展覧会の絵」
指揮：ワシーリ・ペトレンコ
チェロ：ダニエル・ミュラー・ショット*



チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日 [11:00amからの受付]	11月	発売中
	12・1・2月	発売延期(新たな発売日は11月上旬に発表予定)
	4・5・6月	3月2日[水](会員) / 3月6日[日](一般)

※今後の状況によっては発売日が変わる場合があります

※最新の情報はN響ホームページ等でご確認ください

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~30%お得です！(割引率は公演や券種によって異なります)

※ Aプログラム、CプログラムはNHKホール改修事に伴い、会場をNHKホールから東京芸術劇場(池袋)に移して、「池袋Aプログラム」「池袋Cプログラム」として行います

※ Bプログラムはサントリーホール改修事に伴い、2022年4月公演を休止するため全8回となります。シーズン会員券の販売はございません

※ 池袋Cプログラムは2021~22シーズンから会員券の料金を変更させていただきます

発売開始日 [11:00amからの受付]	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	販売終了
	シーズン会員券(Winter)	発売中
	シーズン会員券(Spring)	2月22日[火](会員) / 2月25日[金](一般)

※今後の状況によっては発売日が変わる場合があります

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
年間会員券(9回) [池袋A]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥9,000 (¥1,000)
年間会員券(8回) [B]	¥58,640 (¥7,330)	¥50,320 (¥6,290)	¥39,120 (¥4,890)	¥31,760 (¥3,970)	¥24,480 (¥3,060)	¥8,000 (¥1,000)
年間会員券(9回) [池袋C]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥8,820 (¥980)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
シーズン会員券(3回) [池袋A]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,820)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,900 (¥1,300)
シーズン会員券(3回) [池袋C]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,780 (¥1,260)

※()内は1公演あたりの単価

WEBセレクト3+

好きな公演を3つ以上セレクトすると、1回券がお得になります。Autumn(9~11月)、Winter(12~2月)、Spring(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いた

します。座席・券種は自由にお選びいただけます。

※ WEBチケットN響のみでの販売となります

※ 1回券発売日からお申し込みいただけます

(なお、AUTUMNシーズンの1回券を同時に発売できなくなったことを受け、同期間の「WEBセレクト3+」の販売を休止しました)

ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

※ N響ガイドのみの販売となります

※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただけます

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

営業時間: 11:00am ~ 5:00pm

定休日: 土・日・祝日、定期公演池袋Aプログラムの翌月曜

●主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am~開演時刻まで営業

●発売初日の土・日・祝日は11:00am~3:00pmの営業

●感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhks.or.jp>

Please follow us on     

2021-22定期公演プログラム

2021 11	池袋 A	第1942回	音楽の都、ウィーンの伝統の結晶! フランツ・シュミットの《交響曲第2番》	一般	ユース
		11/13(土) 6:00pm	ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲	S ¥9,800	S ¥5,800
		11/14(日) 2:00pm	リスト／ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 フランツ・シュミット／交響曲 第2番 変ホ長調	A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：ファビオ・ルイーゼ ピアノ：アレクサンドロ・タヴェルナ		
	B	第1944回	ルイーゼの十八番、チャイコフスキー《交響曲第5番》を堪能する	一般	ユース
11/24(水) 7:00pm		パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6	S ¥9,800	S ¥5,800	
11/25(木) 7:00pm		チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64	A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800		
	サントリーホール		指揮：ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ		
	池袋 C	第1943回	ブルックナーに情熱を捧げるルイーゼの《交響曲第4番「ロマンチック」》	一般	ユース
11/18(木) 7:30pm*		ブルックナー／交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」	S ¥7,400	S ¥4,500	
11/19(金) 7:30pm			A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400		
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：ファビオ・ルイーゼ ★通常土曜日の公演(池袋C-2)を木曜7:30pmに開催します		
2021 12	池袋 A	第1945回	男女の心の絆を精妙に描くシェーンベルク初期の傑作を聴く	一般	ユース
		12/4(土) 6:00pm	ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a	S ¥8,900	S ¥5,500
		12/5(日) 2:00pm	R. シュトラウス／4つの最後の歌 シェーンベルク／浄められた夜 作品4	A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：山田和樹 ソプラノ：佐々木典子		
	B	第1947回	期待の俊英指揮者によるドイツ・オーストリア音楽を俯瞰するプログラム	一般	ユース
12/15(水) 7:00pm		ハイドン／交響曲 第22番 変ホ長調 Hob. I-22「哲学者」	S ¥8,900	S ¥5,500	
12/16(木) 7:00pm		HK グルーバー／エアリアル[日本初演]* R. シュトラウス／交響詩「ツアラウトストラはこう語った」作品30	A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500		
	サントリーホール		指揮：ディマ・スロボデニューク トランペット：ホーカン・ハーデンベルガー*		
	池袋 C	第1946回	飛躍を遂げたロシアの気鋭が10年ぶりにN響の指揮台に立つ	一般	ユース
12/10(金) 7:30pm		チャイコフスキー／ロココ風の主題による変奏曲 作品33*	S ¥7,400	S ¥4,500	
12/11(土) 2:00pm		ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲「展覧会の絵」	A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400		
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：ワシーリ・ベトレニコ チェロ：ダニエル・ミュラー・ショット*		
2022 01	池袋 A	第1948回	原田慶太楼と反田恭平が捧げるポーランド、バリへのオマージュ	一般	ユース
		1/15(土) 6:00pm	ショパン(グズノフ編)／軍隊ポロネーズ イ長調 作品40-1(管弦楽版)	S ¥8,900	S ¥5,500
		1/16(日) 2:00pm	ショパン(ストラヴィンスキー編)／夜想曲 変イ長調 作品32-2(管弦楽版) パデレフスキ／ポーランド幻想曲 作品19* ストラヴィンスキー／バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)	A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：原田慶太楼 ピアノ：反田恭平*		
	B	第1950回	色彩の魔術師・ソヒエフがセレクトするプロコフィエフの煌めく名品	一般	ユース
1/26(水) 7:00pm		プロコフィエフ／歌劇「戦争と平和」―「フルツ」	S ¥8,900	S ¥5,500	
1/27(木) 7:00pm		プロコフィエフ／ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26 プロコフィエフ／交響曲 第5番 変ロ長調 作品100	A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500		
	サントリーホール		指揮：トゥガン・ソヒエフ ピアノ：ハオチェン・チャン		
	池袋 C	第1949回	濃密なロマンの香りを放つソヒエフのブラームス	一般	ユース
1/21(金) 7:30pm		ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 短調 作品26	S ¥7,400	S ¥4,500	
1/22(土) 2:00pm		ブラームス／交響曲 第3番 へ長調 作品90	A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400		
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：トゥガン・ソヒエフ ヴァイオリン：ワディム・グルズマン		

池袋		東京芸術劇場 コンサートホール		サントリーホール		池袋		東京芸術劇場 コンサートホール				
A		開場5:00pm 開演6:00pm 開場1:00pm 開演2:00pm		B		開場6:20pm 開演7:00pm 開場6:20pm 開演7:00pm		C		開場6:30pm 開演7:30pm 開場1:00pm 開演2:00pm		
2022 02	池袋 A	第1951回	2/5 土 6:00pm	バーヴォ・ヤルヴィ、レヴィットと覚めるドイツ・ロマン主義の精髓	一般	ユース						
		2/6 日 2:00pm	ブラームス／ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83	S ¥9,800	S ¥5,800	A ¥8,400	A ¥4,800	B ¥6,700	B ¥3,800	C ¥5,400	C ¥2,800	D ¥4,400
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：イゴール・レヴィット									
2022 04	池袋 A	第1953回	2/16 水 7:00pm	バーヴォ・ヤルヴィ&ハーンのイギリス&アメリカ・プログラム	一般	ユース						
		2/17 木 7:00pm	ブリテン／歌劇「ピーター・グライムズ」—4つの海の間奏曲 作品33a	S ¥9,800	S ¥5,800	A ¥8,400	A ¥4,800	B ¥6,700	B ¥3,800	C ¥5,400	C ¥2,800	D ¥4,400
	サントリーホール		指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン									
2022 05	池袋 C	第1952回	2/11 金 祝 7:30pm	バーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描くアルプスの壮大なパノラマ	一般	ユース						
		2/12 土 2:00pm	R. シュトラウス／バレエ音楽「ヨセフの伝説」から交響的断章	S ¥7,400	S ¥4,500	A ¥6,500	A ¥4,000	B ¥5,200	B ¥3,000	C ¥4,200	C ¥2,000	D ¥3,200
	東京芸術劇場 コンサートホール		R. シュトラウス／アルプス交響曲 作品64		指揮：バーヴォ・ヤルヴィ							
2022 04	池袋 A	第1954回	4/9 土 6:00pm	ドイツ最高峰の巨匠と紡ぐベートーヴェンの「舞踏交響曲」	一般	ユース						
		4/10 日 2:00pm	ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」作品92	S ¥9,800	S ¥5,800	A ¥8,400	A ¥4,800	B ¥6,700	B ¥3,800	C ¥5,400	C ¥2,800	D ¥4,400
	東京芸術劇場 コンサートホール		モーツァルト／フルート協奏曲 第1番 変ト長調 K. 313		指揮：クリstof・エッセンバッハ フルード：スタティス・カラバノス							
2022 05	池袋 A	第1955回	4/15 金 7:30pm	孤高の巨匠が迫るマーラーの本質——エッセンバッハの《交響曲第5番》	一般	ユース						
		4/16 土 2:00pm	マーラー／交響曲 第5番 嬰ハ短調	S ¥7,400	S ¥4,500	A ¥6,500	A ¥4,000	B ¥5,200	B ¥3,000	C ¥4,200	C ¥2,000	D ¥3,200
	東京芸術劇場 コンサートホール		指揮：クリstof・エッセンバッハ									
2022 05	池袋 A	第1956回	5/14 土 6:00pm	こだわりの名匠と一から再構築するシューベルトの巨大な音楽遺産	一般	ユース						
		5/15 日 2:00pm	シューマン／ヴァイオリン協奏曲 二短調	S ¥8,900	S ¥5,500	A ¥7,400	A ¥4,500	B ¥6,800	B ¥3,500	C ¥4,700	C ¥2,500	D ¥3,700
	東京芸術劇場 コンサートホール		シューベルト／交響曲 第8番 変ハ長調 D. 944「ザ・グレート」		指揮：マレク・ヤノフスキ ヴァイオリン：アリョーナ・バーエフ							
2022 05	池袋 B	第1958回	5/25 水 7:00pm	名キャプテン・ルイージと大海原を音楽で航海する	一般	ユース						
		5/26 木 7:00pm	メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27	S ¥9,800	S ¥5,800	A ¥8,400	A ¥4,800	B ¥6,700	B ¥3,800	C ¥5,400	C ¥2,800	D ¥4,400
	サントリーホール		リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェラザード」作品35		指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：小菅 優							
2022 05	池袋 C	第1957回	5/20 金 7:30pm	ルイージと丹念に磨き込むウィーン古典派の名品	一般	ユース						
		5/21 土 2:00pm	モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲	S ¥7,400	S ¥4,500	A ¥6,500	A ¥4,000	B ¥5,200	B ¥3,000	C ¥4,200	C ¥2,000	D ¥3,200
	東京芸術劇場 コンサートホール		モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466		指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ							
				ベートーヴェン／交響曲 第8番 変ハ長調 作品93								

2022
06

池袋
A

第1959回

6/11 [土] 6:00pm

6/12 [日] 2:00pm

東京芸術劇場
コンサートホール

フランス音楽と文学の幸せなマリアージュ その耽美的な世界に身を委ねる

デュカス／バレエ音楽「ヘリ」(ファンファーレつき)

ラヴェル／シェエラザード*

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲

フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50

指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ メゾ・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラック*

一般	ユース
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

B

第1961回

6/22 [水] 7:00pm

6/23 [木] 7:00pm

サントリーホール

しなやかに、颯爽と！鈴木優人のモーツァルト《ジュピター》

バッハ(鈴木優人編)／バッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

ブリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15

モーツァルト／交響曲 第41番 ハ長調 K. 551「ジュピター」

指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古 廉

一般	ユース
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

池袋
C

第1960回

6/17 [金] 7:30pm

6/18 [土] 2:00pm

東京芸術劇場
コンサートホール

仏米2人の作曲家が伝える1920～30年代 パリの息吹

ブーランク／バレエ組曲「牝鹿」

ブーランク／オルガン協奏曲ト短調

ガーシュウィン／パリのアメリカ人

指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ オルガン：オリヴィエ・ラトリー

一般	ユース
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

(料金はすべて税込)

※今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

特別公演

12/22水 7:00pm

12/23木 7:00pm

12/25土 2:00pm

12/26日 2:00pm

ベートーヴェン「第9」演奏会

Bunkamura オーチャードホール(12/22、23)、東京芸術劇場 コンサートホール(12/25、26)

指揮: ファビオ・ルイージ ソリスト・合唱: 未定

ベートーヴェン / 交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱つき」

主催: NHK / NHK交響楽団

協賛: みずほ証券株式会社 / はごろもフーズ株式会社 / 花王株式会社 / 株式会社明電舎

お問合せ: N響ガイド TEL(03)5793-8161

※ 最新情報はN響ホームページ・SNSでご確認ください(今後の状況によっては、出演者、開演時刻等が変更になる場合や公演が中止になる場合があります。あらかじめご了承ください)

12/27月 7:00pm | かんぼ生命 presents N響第九 Special Concert

サントリーホール

指揮: ファビオ・ルイージ ソリスト・合唱: 未定

ベートーヴェン / 交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱つき」 ほか

主催: NHK交響楽団

特別協賛: 株式会社かんぼ生命保険

お問合せ: N響ガイド TEL(03)5793-8161

※ 最新情報はN響ホームページ・SNSでご確認ください(今後の状況によっては、出演者、開演時刻等が変更になる場合や公演が中止になる場合があります。あらかじめご了承ください)

1/31月 7:00pm | N響「新春」

東京オペラシティ コンサートホール

指揮: 高関 健 ヴァイオリン: 白井 圭

リムスキー・コルサコフ / ス페인奇想曲 作品34

メンデルスゾーン / ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ムソルグスキー(ラヴェル編) / 組曲「展覧会の絵」

料金(税込): 一般 | S席7,200円 A席5,200円 B席3,000円

ユース | S席5,900円 A席4,300円 B席2,500円

チケット発売日: 11月16日(火)11:00am 定期会員先行発売日: 11月11日(木)11:00am

主催: NHK / NHK交響楽団

協賛: 岩谷産業株式会社

お問合せ: N響ガイド TEL(03) 5793-8161

※ 定期会員は一般料金の10%割引で購入いただけます

※ ユースチケットはN響ガイドにお電話でお申し込みください。感染予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)

※ N響ガイドでのお申し込みは公演日の1営業日前までとなります

各地の公演

11/27(土) 4:00pm | NHK交響楽団演奏会 大阪公演

NHK大阪ホール

指揮:ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン:フランチェスカ・デゴ

パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6

チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64

主催:NHK大阪放送局／NHK交響楽団

お問合せ:NHK大阪ホールNHKイベントガイド TEL (06) 6947-5000

11/28(日) 3:00pm | NHK交響楽団定期演奏会(愛知県芸術劇場シリーズ)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

出演者・曲目は11月27日と同じ

主催:愛知県芸術劇場／NHK名古屋放送局

お問合せ:愛知県芸術劇場 TEL (052) 211-7552

1/10(月祝) 2:00pm | 2022サンシティ・ニューイヤーコンサート NHK交響楽団

サンシティ越谷市民ホール

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季

ヨハン・シュトラウスII世／皇帝円舞曲 作品437

ヨハン・シュトラウスII世／ホルカ「雷鳴と電光」作品324

ヨハン・シュトラウスII世／トリッチ・トラッチ・ホルカ 作品214

ヨハン・シュトラウスII世／ワルツ「美しく青きドナウ」作品314

マーラー／交響曲 第4番ト長調

主催:(公財)越谷市施設管理公社

お問合せ:越谷コミュニティセンター TEL (048) 985-1112

2/21(日) 7:00pm | 国際音楽祭 NIPPON2022

尾高忠明 指揮／NHK交響楽団／諏訪内晶子(ヴァイオリン)

東京オペラシティ コンサートホール

指揮:尾高忠明 ヴァイオリン:諏訪内晶子

シベリウス／「ベレアスとメリザンド」組曲 作品46

デュティユー／ヴァイオリンと管弦楽のための夜想曲「同じ和音の上で」

ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77

主催:ジャパン・アーツ

お問合せ:ジャパン・アーツぴあコールセンター TEL (0570) 00-1212

2/24(木) 7:00pm | 2022都民芸術フェスティバル参加公演 オーケストラ・シリーズ No. 53

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮:高関 健 ヴァイオリン:南 紫音
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68

主催・お問合せ:(公社)日本演奏連盟 TEL (03) 3539-5131

2/26(土) 3:00pm | NHK交響楽団 長岡特別演奏会

長岡市立劇場

出演者・曲目は2月24日と同じ

主催:(公財)長岡市芸術文化振興財団
お問合せ:(公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内)TEL (0258) 29-7715

3/6(日) 5:00pm

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトフルオーケストラによる完結編
シリーズⅢ ロマン派から印象派へ +
野平一郎 静岡トリロジーⅢ「瞬間と永遠の歌」

グランシップ 中ホール・大地

指揮:野平一郎 合唱:音楽青葉会・静岡児童合唱団
ビゼー/「アルルの女」組曲 第2番
ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲
ラヴェル/バレエ音楽「ラ・ヴァルス」
野平一郎/静岡トリロジーⅢ(公益財団法人静岡県文化財団委嘱作品・新作初演)

主催:(公財)静岡県文化財団、静岡県
お問合せ:グランシップチケットセンター TEL(054) 289-9000

3/13(日) 5:00pm | N響姫路公演

アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)大ホール

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根 真*
バーンスタイン/「キャンディード」序曲
バーンスタイン(メーソン編)/「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション
ガーシュウィン/ラブソング・イン・ブルー*
ロジャース&ハマースタインⅡ/サウンド・オブ・ミュージック
ガーシュウィン(ベネット編)/「ポーギーとベス」交響的絵画

主催:(公財)姫路市文化国際交流財団
お問合せ:(公財)姫路市文化国際交流財団 制作チーム TEL (079) 298-8015

オーチャード定期

Bunkamura オーチャードホール

1/8(土) 3:30pm

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / 皇帝円舞曲 作品437

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / ボルカ「雷鳴と電光」 作品324

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / トリッチ・トラッチ・ボルカ 作品214

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / ワルツ「美しく青きドナウ」 作品314

マーラー / 交響曲 第4番 長調

3/12(土) 3:30pm

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根 真*

バーンスタイン / 「キャンディード」序曲

バーンスタイン(メーソン編) / 「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション

ガーシュウィン / ラブソディ・イン・ブルー*

ロジャース&ハマースタインⅡ / サウンド・オブ・ミュージック

ガーシュウィン(ベネット編) / 「ポーギーとベス」交響的絵画

主催・お問合せ: Bunkamura TEL (03) 3477-3244

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ
名誉音楽監督：シャルル・デュトワ
桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュエット
桂冠指揮者：ウラディーミール・アシケナージ
正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀
コンサートマスター：伊藤亮太郎
ゲスト・コンサートマスター：白井圭

第1ヴァイオリン

青木 調
字根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
○大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦
矢津将也
山田慶一

横山俊朗
米田有花

村尾隆人

ヴィオラ

◎佐々木 亮
◎村上淳一郎
☆中村翔太郎
小野 聡
小島茂隆
□坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村洋乃理
松井直之
三国レイチェル由依
御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

◎辻本 玲
◎藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真步
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハープ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
黒川大亮

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田淳一
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ (株)NHKアート 代表取締役社長 小野木昌史
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 黄木紀之
・ (株)アイシン 取締役社長 吉田守孝	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 山田哲生
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ (株)NHK エデュケーションル 代表取締役社長 田波宏視
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 勝木敦志	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 黄木紀之
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 松本浩司
・ 朝日信用金庫 理事長 伊藤康博	・ (株)ウイングツー 代表取締役 福田健二	・ (学)NHK 学園 理事長 篠原朋子
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役会長 川寄靖之	・ (株)NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長 根本拓也
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史	・ CSCS(株) 代表取締役執行役員 社長 最高執行責任者 谷原 徹	・ (一財)NHK サービスセンター 理事長 黄木紀之

- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 土井成紀
- ・(株)NHKテクノロジーズ
代表取締役社長 | 野口周一
- ・(株)NHKビジネススクリエイト
代表取締役社長 | 石原勉
- ・(株)NHKプロモーション
代表取締役社長 | 大美慶昌
- ・(株)NHK文化センター
代表取締役社長 | 田中剛志
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファンリテーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOSホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員
大田勝幸
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川淳
- ・岡崎耕治
- ・岡山英世
- ・沖電気工業(株)
代表取締役社長執行役員 | 鎌上信也
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員
長谷部佳宏
- ・カンオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 | 仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)CURIOUS PRODUCTIONS
代表取締役 | 黒川幸太郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおる
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役専務 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフェンプラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役社長 社長執行役員
紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)コーポレートディレクション
代表取締役 | 石井光太郎
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 佳佑
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・(株)ジェイ・ウィル・コーポレーション
代表取締役 | 佐藤雅典
- ・JCOM(株)
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)集英社
代表取締役社長 | 廣野真一
- ・(株)小学館
代表取締役社長 | 相賀昌宏
- ・庄司勇次朗・恵子
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
院長 | 松木隆央
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループCEO
兼グループCCO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純

- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男
- ・関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・(株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO | 村松俊亮
- ・損害保険ジャパン(株)
代表取締役社長 | 西澤敬二
- ・第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山譲治
- ・ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・(株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・(株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・田中貴金属工業(株)
代表取締役社長執行役員
田中浩一朗
- ・田原 昇
- ・チャンネル銀河(株)
代表取締役社長 | 住田和嘉子
- ・中央日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・中外製薬(株)
代表取締役社長 | 奥田 修
- ・(株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・(株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鶴田勝彦
- ・東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・(株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・東京海上日動火災保険(株)
取締役社長 | 広瀬伸一
- ・(株)東京交通会館
取締役社長 | 興野敦郎
- ・東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・東邦ホールディングス(株)
取締役最高顧問 | 濱田矩男
- ・(株)東北新社
代表取締役社長 | 中島信也
- ・(-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 金子眞吾
- ・トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・内外施設工業グループホールディングス(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・中銀グループ
代表 | 渡辺藏人
- ・中山武之
- ・日鉄興和不動産(株)
代表取締役社長 | 今泉泰彦
- ・日東紡績(株)
取締役 代表取締役社長 | 辻 裕一
- ・日本ガイシ(株)
取締役社長 | 小林 茂
- ・(株)日本国際放送
代表取締役社長 | 高尾 潤
- ・日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・日本電気(株)
代表取締役執行役員社長 | 森田隆之
- ・(-財)日本放送協会共済会
理事長 | 谷弘聡史
- ・日本郵政(株)
取締役兼代表取締役社長 | 増田寛也
- ・(株)ニフコ
代表取締役社長 | 柴尾雅春
- ・(株)日本デジコム
代表取締役 | 竹井裕二
- ・野村ホールディングス(株)
代表取締役社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニック(株)
代表取締役 社長執行役員 CEO
楠見雄規
- ・(有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・(株)日立製作所
執行役社長 | 小島啓二
- ・(株)フォトン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・福田三千男
- ・富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博亨
- ・古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・(株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・(株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・(公)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・(株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・三井住友海上火災保険(株)
代表取締役 | 船曳真一郎
- ・(株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・三菱電機(株)
執行役社長 | 漆間 啓
- ・(株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘

- ・三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・三原穂積
- ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
- ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
- ・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
- ・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵
- ・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾
- ・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔

- ・矢下茂雄
- ・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸
- ・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦
- ・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人
- ・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄
- ・米澤文彦
- ・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔
- ・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆
- ・料亭 三長
代表 | 高橋千善

- ・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也
- ・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二
- ・ローム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功
- ・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次

(五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL: 03-5793-8120

曲目解説執筆者

池上健一郎 (いけがみ けんいちろう)

京都市立芸術大学音楽学部准教授。ヴェルツブルク大学でハイドンと古典派時代の音楽に関する研究により博士号取得。専門は18～19世紀のドイツ音楽。おもな論文に「ハイドンのシンフォニーにおける変奏反復と管弦楽法のストラテジー」「『二重の存在』としてのブルックナー——《交響曲第9番》第3楽章(アダージョ)における自立性と標題性をめぐって」など。

千葉 潤 (ちば じゅん)

札幌大谷大学学長。2003年、モスクワ音楽院大学院から芸術学カンディダート(Ph. D)を授与される。専門はロシア音楽。著書に「ショスタコーヴィチ」(作曲家・人と作品シリーズ)、『アリフレド・シュニトケの交響的創作』、共編著書に「ロシア音楽事典」、おもな論文に「エディソン・デニーソフ《死は永き眠り》における変奏技法の諸特徴」など。

広瀬大介 (ひろせ だいすけ)

青山学院大学教授。博士(学術)。専門は19～20世紀のドイツ音楽史。著書に『リヒャルトシュトラウス「自画像」としてのオペラ——《無口な女》の成立史と音楽』『帝国のオペラ——《ニーベルングの指環》から《ばらの騎士》へ』など。音楽専門誌などへも寄稿多数。

(五十音順、敬称略)

みなさまの声をお聞かせください！

インターネットアンケートにご協力ください

ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。
ご協力をお願いいたします。

アクセス方法

STEP

1



スマートフォンで右の
QRコードを読み取る。
またはURLを入力
[https://www.nhkso.or.jp/
enquete.html](https://www.nhkso.or.jp/enquete.html)



STEP

2



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、
「送信」を押して完了！

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

会場入口の主催者受付に設置の「ご意見回収箱」に投函いただくか、

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

ふりがな		年齢	歳
お名前		TEL	

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、他の目的に使用いたしません。

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

1st Violins

- Shirabe Aoki
- Kyoko Une
- Yuki Oshika
- Ryota Kuratomi
- Ko Goto
- Tamaki Kobayashi
- Toshihiro Takai
- Yuki Naoi
- Yumiko Nakamura
- Takao Furihata
- Hiroyuki Matsuda
- Nana Miyagawa
- Masahiro Morita
- Tsutomu Yamagishi
- Masamichi Yokoshima
- Koichi Yokomizo

2nd Violins

- ◎ Nobuko Obayashi
- ◎ Rintaro Omiya
- Toshiyuki Kimata
- Maiko Saito
- Keiko Shimada
- Atsushi Shirai
- Akiko Tanaka
- Kirara Tsuboi
- Yosuke Niwa
- Kazuhiko Hirano
- Yoko Funaki
- Kenji Matano
- Haruhiko Mimata
- Masaya Yazu
- Yoshikazu Yamada
- Toshiro Yokoyama
- Yuka Yoneda

- Ryuto Murao

Violas

- ◎ Ryo Sasaki
- ◎ Junichiro Murakami
- ☆ Shotaro Nakamura
- Satoshi Ono
- Shigetaka Obata
- Gentaro Sakaguchi
- Mayumi Taniguchi
- Hiroto Tobisawa
- Hironori Nakamura
- Naoyuki Matsui
- Rachel Yui Mikuni
- # Yuya Minorikawa
- Ryo Muramatsu
- Yuji Yamada

Cellos

- ◎ Rei Tsujimoto
- ◎ Ryoichi Fujimori
- Hiroya Ichi
- Yukinori Kobatake
- Masahide Sannohe
- Miho Naka
- Ken'ichi Nishiyama
- Shunsuke Fujimura
- Hiroshi Miyasaka
- Yuki Murai
- Shunsuke Yamanouchi
- Masako Watanabe

Contrabasses

- ◎ Shu Yoshida
- ☆ Masanori Ichikawa
- ☆ Shinji Nishiyama
- Eiji Inagawa
- Jun Okamoto
- Takashi Konno
- Hiroaki Sagawa
- Tatsuro Honma
- Yoko Yanai

Flutes

- ◎ Masayuki Kai
- ◎ Hiroaki Kanda
- Maho Kajikawa
- Jun Sugawara
- Junji Nakamura

Oboes

- ◎ Satoki Aoyama
- ◎ Yumi Yoshimura
- Shoko Ikeda
- Izumi Tsuboike
- Hitoshi Wakui

Clarinets

- ◎ Kei Ito
- ◎ Kenji Matsumoto
- # Takashi Yamane

Bassoons

- ◎ Hironori Ugajin
- ◎ Kazusa Mizutani
- Yuki Sato
- Keiko Sugawara
- Itaru Morita

Horns

- ◎ Hitoshi Imai
- ◎ Nobuaki Fukukawa
- Naoki Ishiyama
- Yasushi Katsumata
- Hiroshi Kigawa
- Kazuko Nomiya

Trumpets

- ◎ Kazuaki Kikumoto
- ◎ Tomoyuki Hasegawa

Tomoki Ando
Eiji Yamamoto

Trombones

- ◎ Hikaru Koga
- ◎ Mikio Nitta
- Ko Ikegami
- Hiroyuki Kurogane
- Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

- ◎ Toru Uematsu
- ◎ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa

Stage Manager

Masaya Tokunaga
Daisuke Kurokawa

Librarian

Akane Oki
Hideyo Kimura

(◎ Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, # Inspector)

The Subscription Concerts Program 2021–22

2021
11

ikebukuro A	Concert No. 1942 November 13 (Sat) 6:00pm 14 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Weber "Der Freischütz," opera Op. 77–Overture Liszt Piano Concerto No. 2 A Major Franz Schmidt Symphony No. 2 E-flat Major Fabio Luisi, conductor Alessandro Taverna, piano	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
	Concert No. 1944 November 24 (Wed) 7:00pm 25 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Paganini Violin Concerto No. 1 D Major Op. 6 Tchaikovsky Symphony No. 5 E Minor Op. 64 Fabio Luisi, conductor Francesca Degó, violin	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
ikebukuro C	Concert No. 1943 November 18 (Thu) 7:30pm* 19 (Fri) 7:30pm Tokyo Metropolitan Theatre	Bruckner Symphony No. 4 E-flat Major "Romantische" Fabio Luisi, conductor *The concert (C-2) usually held on Saturday will be held on Thursday at 7:30p.m. this month.	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

2021
12

ikebukuro A	Concert No. 1945 December 4 (Sat) 6:00pm 5 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Brahms "Variationen über ein Thema von Haydn," Op. 56a R. Strauss 4 Letzte Lieder Schönberg "Verklärte Nacht," Op. 4 Kazuki Yamada, conductor Noriko Sasaki, soprano	Ordinary Ticket S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth Ticket S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	Concert No. 1947 December 15 (Wed) 7:00pm 16 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Haydn Symphony No. 22 E-flat Major Hob. I-22 "Der Philosoph" HK Gruber Aerial* [Japan Première] R. Strauss "Also sprach Zarathustra," Tondichtung frei nach Nietzsche Op. 30 Dima Slobodeniouk, conductor Håkan Hardenberger, trumpet*	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
ikebukuro C	Concert No. 1946 December 10 (Fri) 7:30pm 11 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Tchaikovsky "Variations on a Rocooco Theme," Op. 33 Mussorgsky / Ravel Tableaux d'une exposition," suite Vasily Petrenko, conductor Daniel Müller-Schott, cello	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

2022
01

ikebukuro A	Concert No. 1948 January 15 (Sat) 6:00pm 16 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Chopin / Glazunov Polonaise A Major Op. 40-1 "Polonaise militaire" (Orchestral Version) Chopin / Stravinsky Nocturne A-flat Major Op. 32-2 (Orchestral Version) Paderewski Fantaisie polonaise sur des thèmes originaux G Minor Op. 19* Stravinsky "Loiseau de feu," ballet (1910 Edition) Keitaro Harada, conductor Kyohai Sorita, piano*	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	Concert No. 1950 January 26 (Wed) 7:00pm 27 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Prokofiev "War and Peace," opera–Waltz Prokofiev Piano Concerto No. 3 C Major Op. 26 Prokofiev Symphony No. 5 B-flat Major Op. 100 Tugan Sokhiev, conductor Haochen Zhang, piano	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
ikebukuro C	Concert No. 1949 January 21 (Fri) 7:30pm 22 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Bruch Violin Concerto No. 1 G Minor Op. 26 Brahms Symphony No. 3 F Major Op. 90 Tugan Sokhiev, conductor Vadim Gluzman, violin	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400

A **Tokyo Metropolitan Theatre**
Sat. 6:00pm (doors open at 5:00pm)
Sun. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

B **Suntory Hall**
Wed. 7:00pm (doors open at 6:20pm)
Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm)

C **Tokyo Metropolitan Theatre**
Fri. 7:30pm (doors open at 6:30pm)
Sat. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

2022
02

Concert No. 1951

February

5 (Sat) 6:00pm

6 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Brahms Piano Concerto No. 2 B-flat Major Op. 83
Schumann Symphony No. 2 C Major Op. 61

Paavo Järvi, conductor
Igor Levit, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. 1953

February

16 (Wed) 7:00pm

17 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Britten "Peter Grimes," opera—Four Sea Interludes Op. 33a
Barber Violin Concerto Op. 14
Elgar Variations on an Original Theme Op. 36 "Enigma"

Paavo Järvi, conductor
Hilary Hahn, violin

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. 1952

February

11 (Fri) 7:30pm

12 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

R. Strauss Symphonic Fragment from "Josephs Legende," ballet
R. Strauss Eine Alpensinfonie Op. 64

Paavo Järvi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
04

Concert No. 1954

April

9 (Sat) 6:00pm

10 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Dvořák "Carnival," overture Op. 92
Mozart Flute Concerto No. 1 G Major K. 313
Beethoven Symphony No. 7 A Major Op. 92

Christoph Eschenbach, conductor
Stathis Karapanos, flute

Ordinary Ticket	Youth Ticket
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

B

Due to the renovation of Suntory Hall,
April 2022 concerts will be cancelled.

Concert No. 1955

April

15 (Fri) 7:30pm

16 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Mahler Symphony No. 5 C-sharp Minor

Christoph Eschenbach, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

Concert No. 1956

May

14 (Sat) 6:00pm

15 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Schumann Violin Concerto D Minor
Schubert Symphony No. 8 C Major D. 944 "Die Große"

Marek Janowski, conductor
Alena Baeva, violin

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. 1958

May

25 (Wed) 7:00pm

26 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Mendelssohn "Meeresstille und glückliche Fahrt," overture Op. 27
Ravel Piano Concerto G Major
Rimsky-Korsakov "Schéhérazade," symphonic suite Op. 35

Fabio Luisi, conductor
Yu Kosuge, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. 1957

May

20 (Fri) 7:30pm

21 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Mozart "Don Giovanni," opera K. 527—overture
Mozart Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466
Beethoven Symphony No. 8 F Major Op. 93

Fabio Luisi, conductor
Alexander Melnikov, piano

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
06

Kiechikuro A	Concert No. 1959	Dukas "La Péri," poème dansé (With its appended Fanfare) Ravel Schéhérazade* Debussy Prélude à l'après-midi d'un faune Florent Schmitt "La tragédie de Salomé," ballet suite Op. 50	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	June 11 (Sat) 6:00pm 12 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Stéphanie d'Oustrac, mezzo soprano*		
B	Concert No. 1961	Bach / Suzuki Passacaglia and Fugue C Minor BWV582 Britten Violin Concerto Op. 15 Mozart Symphony No. 41 C Major K. 551 "Jupiter"	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
	June 22 (Wed) 7:00pm 23 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Masato Suzuki, conductor Sunao Goko, violin		
Kiechikuro C	Concert No. 1960	Poulenc "Les biches," ballet suite Poulenc Organ Concerto G Minor Gershwin An American in Paris	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
	June 17 (Fri) 7:30pm 18 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Olivier Latry, organ		

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

しなやかな響き 颯爽とした無伴奏

J.S. バッハ

無伴奏チェロ組曲

木越 洋

【CD】
MM-4086-87(2CD) / ¥4,400



屈指の奏者、木越洋による待望の「バッハ：無伴奏チェロ組曲」。同作品の全曲演奏会を20数年に渡り毎年開催、通算では100回を優に越えるという。長きに渡り作品と対峙してきた奏者だからこそ、「組曲 それぞれのイメージ溢れる深い解釈は、作品の新たな側面を示し、聴く者を魅了します。また、濁りの無い響きを求め、倍音を意識した独自の細やかなチューニングに取り組み木越。そのニュアンス豊かな響きを高解像度録音で録えました。

J.S. BACH The 6 Cello Suites YO KIGOSHI



鮮やかなギターと優美なオーボエの歌

白鳥の歌

オーボエとギターの作品集

池田 昭子 Ob 福田 進一 G

ナポレオン・コスト:ロマンズ、カンティレーナ 高地
カール・ビルス:オーボエとギターのためのソナチネ
シューベルト(コスト編):セレナーテ、舟歌、他



【CD】 MM-4069 / ¥3,300

お互いの持ち味を引き立て、抜群に相性の良い響きを聴かせてくれる、ダブルリードと撥弦楽器による二重奏。オリジナル作品を軸に、池田昭子によるオーボエとイングリッシュホルンの甘美な歌が冴える、歌曲を交えてのプログラム。世界的ギタリスト、福田進一との注目のコラボレーションです。

荘重な響きが降り注ぐ! 圧巻の作品集

シャコンヌ チェロ・クアルテット K



安田 謙一郎 1st, 藤村 俊介 2nd, 宮坂 拓志 3rd, 木越 洋 4th

J. S. バッハ:シャコンヌ/グズネツォフ組曲 【CD】
ラヴェル:亡き女王のためのバヴァーヌ、他 MM-4081 / ¥3,300

カサドやフルニエといった名だたる巨匠に師事し、国内外でチェリスト・作曲家として活躍する、重鎮、安田謙一郎。彼を筆頭に、その門下が集った「チェロ・クアルテット K」。プログラムは、ヴァルガの名編曲で人気も高いシャコンヌに、録音希少なオリジナル作品のグズネツォフ組曲など。これら個性溢れる作品を、変化に富んだ荘重な響きで聴かせる、注目盤です。



ハイレゾDXD384で聴くクラシック mora x マイスター・ミュージック →



MEISTER MUSIC
http://www.meister-music.com

DXD384kHz
ハイレゾ録音

マイスター・ミュージックは 邦人初のディプロム・トーンマイスター主宰
高音質ハイレゾ録音&マスタリングのクラシック音楽専門レーベルです

「良い教育は、
良い環境から」

— 学園創立者 —



川並 香順 川並 孝子



《幼稚園から大学院まで計18の教育機関》

*実就職率 **96.3%** (全国女子大学ランキング1位)^{*1} *教育系就職率 **8年連続 100%**

*保育士採用数 **15年連続全国1位**^{*2} *幼稚園教員採用数 **8年連続 14回目 全国1位**^{*2}

※1：大学通信調べ卒業生 500人以上の女子大の実就職率ランキング ※2：2020年 大学通信調べ



SEITOKU

聖徳大学 (女子)

聖徳大学短期大学部 (女子)

〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550

TEL.047-365-1111 (大代表)

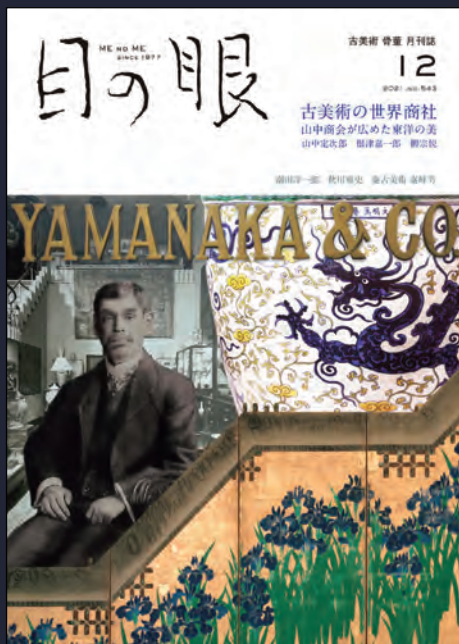
聖徳大学

検索

<https://www.seitoku-u.ac.jp/>

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校
光英 VERITAS 高等学校 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英 VERITAS 中学校
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校 聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園
聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園 聖徳大学附属成田幼稚園
聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー (SOA)

創刊から半世紀 日本で最も読まれる古美術・骨董月刊誌



2021年12月号
特集

発売中

古美術の世界商社 YAMANAKA

山中商會が広めた東洋の美

20世紀初頭、メトロポリタンや大英といった海外の美術館・博物館をはじめ、世界の富豪たちが買い求めた東洋美術の超一級品。それらを東から西へ、世界を舞台にビジネスを展開したのが日本の古美術商「山中商會」です。12月号の特集は、日本の古美術を含む東洋美術コレクションに、いまなお影響を与えている「世界の山中」の歴史と彼らが扱った名品をご紹介します。

定価 1,320 円

お求めは目の眼 HP 書店 Amazon にて

毎月 最新号 WEB 無料公開

連載 潮田洋一郎 / 秋川雅史ほか

[2022年1月号予告] 12月15日発売

特集「神仏のみやび 春日信仰の古美術」

神奈川県立金沢文庫特別展「春日神霊の旅—杉本博司常陸から大和へ—」にあわせ、春日信仰を背景にした古美術を特集します。

定期購読なら、

古美術・骨董のあらゆる情報が見つかります。

ご指定の号から
1年間12冊 **¥10,000** (消費税 国内送料込)

定期購読者限定WEBサイトでバックナンバー8年分(約100冊)が読み放題!



株式会社 目の眼

東京都港区麻布十番2-5-13 丸井ビル4F TEL. 03-6721-1152

<http://menomeonline.com>

最後にたどりつく原点

初めてのオーディオ体験を思い出してください。
憧れをついに手にした喜び。理想の音と暮らしていく期待。
そして、聴くたびに生まれる感動。

ESOTERICは、最後にたどり着く、
オーディオの最高峰でありたいと願っています。
だからこそ、原点は、決して忘れません。

至高の技術、熟練のクラフツマンシップ、
そして所有するステータス。
すべては、「あの時」の感動を超えるために。

準備が出来たら、いつでもESOTERICの
扉を開いてください。心からお待ちしています。



ESOTERIC

NHKSO
NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO

新春響

年の初め、
オーケストラの壮麗な
ハーモニーに
胸をときめかせる。

NEW YEAR CONCERT

リムスキー・コルサコフ

スペイン奇想曲 作品 34

Rimsky-Korsakov / *Capriccio espagnol Op. 34*

メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64

Mendelssohn / *Violin Concerto E Minor Op. 64*

ムソルグスキー(ラヴェル編)

組曲「展覧会の絵」

Mussorgsky (Ravel) / *"Tableaux d'une exposition," suite*



指揮

高関 健

Ken Takasaki, conductor



ヴァイオリン

白井 圭

Kei Shirai, violin

■主催: NHK / NHK交響楽団 ■協賛: 岩谷産業株式会社

2022年1月31日 [月] 7:00pm

東京オペラシティ コンサートホール

■ 発売開始: 2021年11月16日 [火] 11:00am ■ N響定期会員先行発売: 11月11日 [木] 11:00am

■ 料金 (税込)

一般	ユースチケット (26歳以下)
S ¥7,200	S ¥5,900
A ¥5,200	A ¥4,300
B ¥3,000	B ¥2,500

※定期会員は一般料金から10%割引

■ 前売所

- WEBチケットN響: <https://ticket.nhkso.or.jp/> (手数料無料)
- N響ガイド: 03-5793-8161
- 東京オペラシティ チケットセンター: 03-5353-9999
- チケットびあ: pia.jp/tnhkso (電子チケット利用可)
- e+ (イープラス): eplus.jp/nhkso
- ローソンチケット: 0570-000-407 l-tike.com/nhkso

東京オペラシティ
コンサートホール

アクセス

京王新線(都営地下鉄新線乗り入れ)
初台駅東口より徒歩5分

※ユースチケットはN響ガイドにお電話でお申し込みください。感染症予防対策のために、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)。※定期会員割引・先行発売はWEBチケットN響およびN響ガイドのみの取り扱いとなります。※車いす席をご希望の方は、N響ガイドへお問い合わせください。※N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。※未就学児のご入場はお断りしています。※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。※チケットのご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(下記URLおよびQRコードのリンク先)を必ずお読みください。
www.nhkso.or.jp/news/20200710_2.html



【お問い合わせ】N響ガイド 03-5793-8161

営業時間: 11:00am~5:00pm
定休日: 土・日・祝日/定期公演受け入れプログラムの翌月曜

※主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am~開演時刻まで営業いたします
※発売初日の土・日・祝日は11:00am~3:00pmの営業となります
※感染症予防対策のため電話受付のみの営業となります

www.nhkso.or.jp

Follow us on     

水素で世界を動かせ。

Iwatani
岩谷産業株式会社

脱炭素の道へ。 水素とLPガスが加速する。



温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

イワタニはLPガス・Maruigas^{マルイガス}の全国販売ネットワークを活かし、脱炭素の主役となる水素を暮らしと産業にお届けする準備を進めています。さらに、低炭素なLPガスの開発、廃プラスチックやバイオガス由来の水素やLPガス製造、新しいLPガス合成技術などを推進。クリーンエネルギーのトップランナーとして走り続けます。

水素&LPガスシェアNo.1^{*}

※国内における販売シェア(2021年5月現在、自社調べ)

Iwatani

岩谷産業株式会社